

1.2 対象事業の内容

(1) 対象事業の種類

国土交通省が行うダム新築事業

(2) 対象事業実施区域の位置

対象事業実施区域の位置は、嘉瀬川水系嘉瀬川の佐賀県佐賀郡富士町内で、図 1.2-1 に示すとおりである。

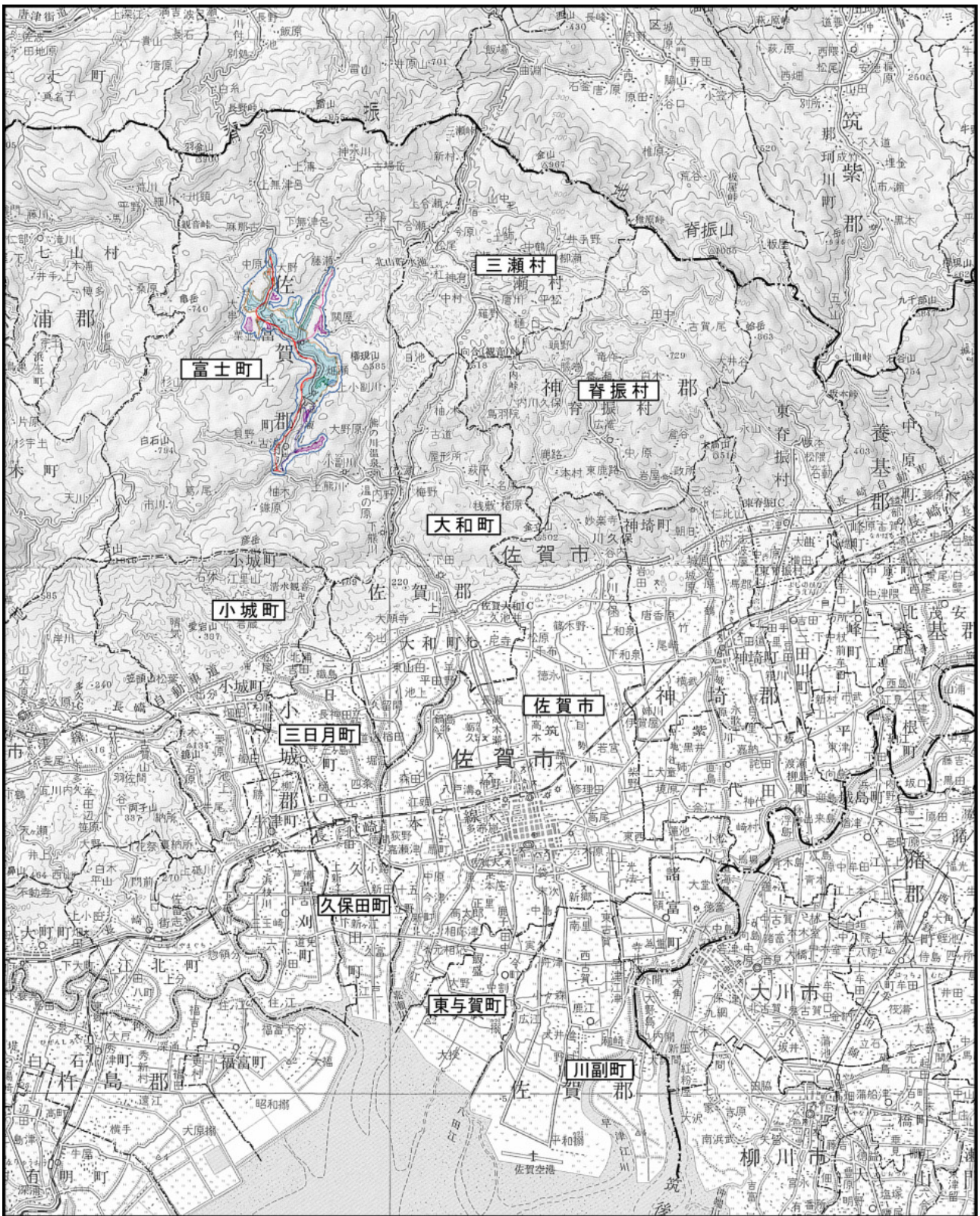
(3) 対象事業の規模及び総貯留容量

貯水面積:270ha(サーチャージ水位^{*}における貯水池の区域の面積)

総貯留容量:71,000,000m³

有効貯留容量:68,000,000m³

*:ダムの計画において洪水時にダムによって一時的に貯留することとした流水の最高の水位で、ダムの非越流部の直上流部におけるものをいう。



凡例

- | | | | | | |
|--|------------|--|---------------|--|--------|
| | : ダム堤体 | | : 付替国道 | | : トンネル |
| | : 貯水予定区域 | | : 付替国道 (未完成) | | : 橋 |
| | : 原石山 | | : 付替県道 | | : 県界 |
| | : 土捨場 | | : 付替県道 (未完成) | | : 市町村界 |
| | : 代替地 | | : 付替町道 | | |
| | : 施工設備 | | : 付替町道 (未完成) | | |
| | : 対象事業実施区域 | | : 付替林道 | | |
| | | | : 付替林道 (未完成) | | |
| | | | : 工事用道路 | | |
| | | | : 工事用道路 (未完成) | | |



1:200,000

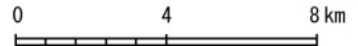
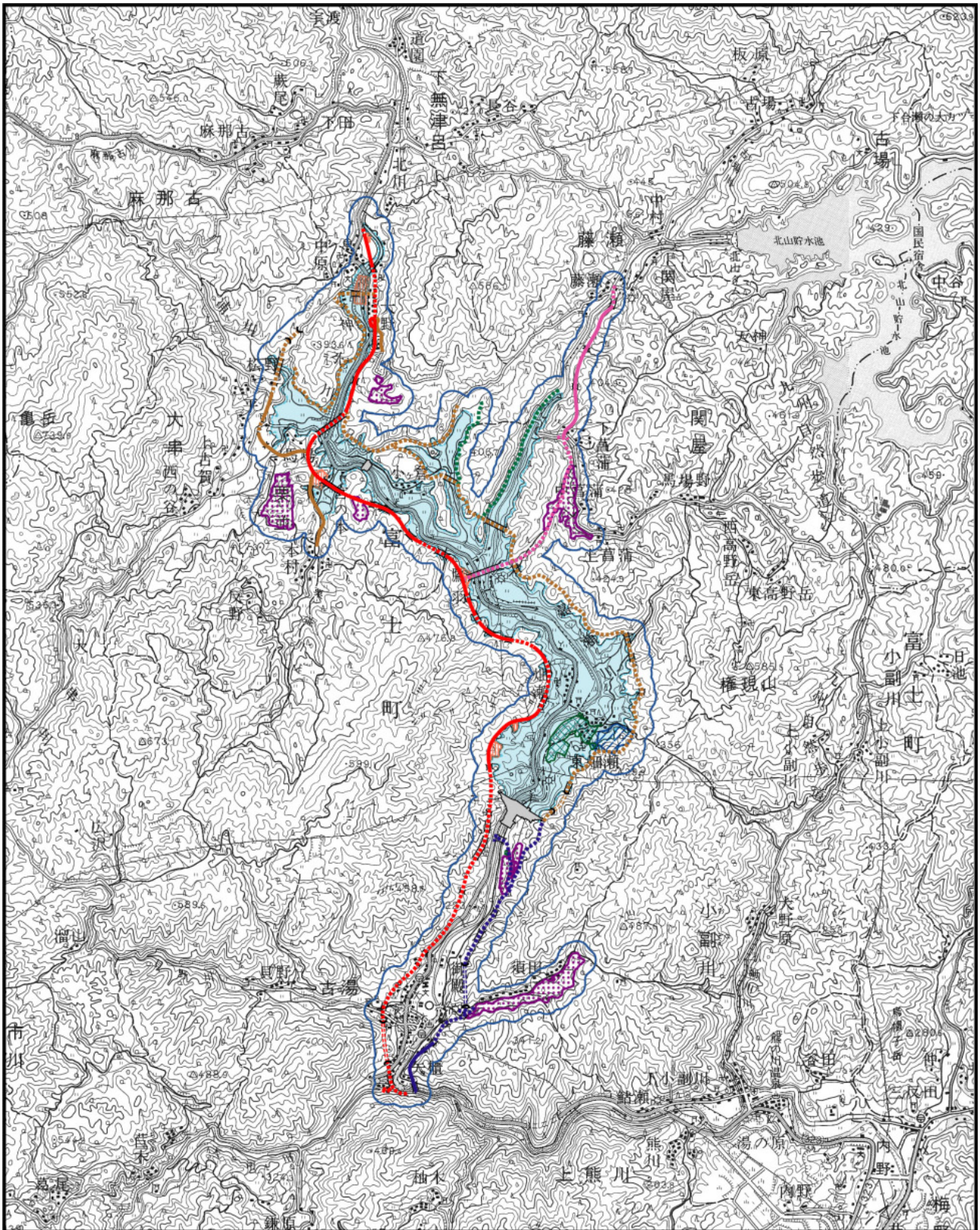


図1.2-1(1)
対象事業実施区域の位置



凡 例

- | | | | | | |
|--|------------|--|--------------|--|--------|
| | : ダム堤体 | | : 付替国道 | | : トンネル |
| | : 副ダム | | : 付替国道(未完成) | | : 橋 |
| | : 貯水予定区域 | | : 付替県道 | | |
| | : 原石山 | | : 付替県道(未完成) | | |
| | : 土捨場 | | : 付替町道 | | |
| | : 代替地 | | : 付替町道(未完成) | | |
| | : 施工設備 | | : 付替林道 | | |
| | : 対象事業実施区域 | | : 付替林道(未完成) | | |
| | | | : 工事用道路 | | |
| | | | : 工事用道路(未完成) | | |



1 : 50,000

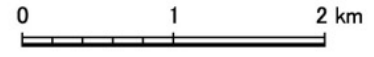


図1.2-1(2)
対象事業実施区域の位置

(4) 対象事業に係るダムの堤体の規模及び形式

1) ダムの堤体の規模

嘉瀬川ダムのダムの堤体の規模に関する事項を以下に、ダム堤体平面図、ダム堤体標準断面図及びダム堤体下流面図を図 1.2-2 に示す。

集水面積:約 128.4km²

堤高:97.0m

堤頂長:約 480.0m

サーチャージ水位:EL.300.0m

2) ダムの堤体の形式

形式:重力式コンクリートダム

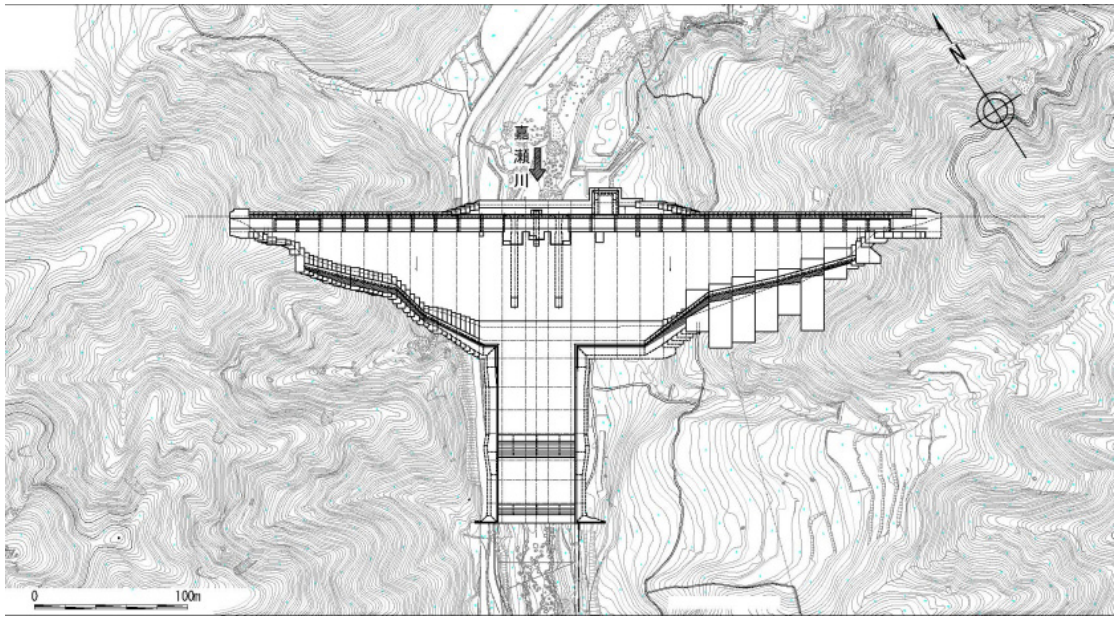


図 1.2-2(1) ダム堤体平面図

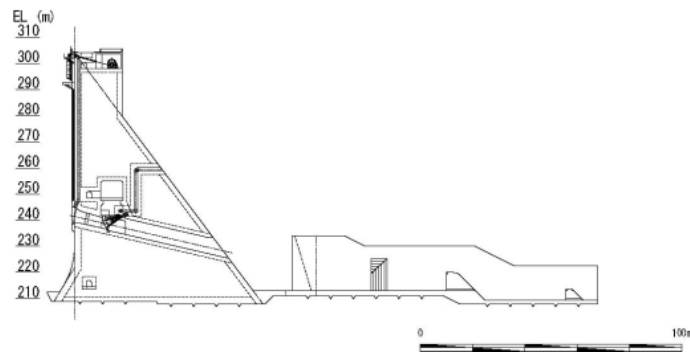


図 1.2-2(2) ダム堤体標準断面図

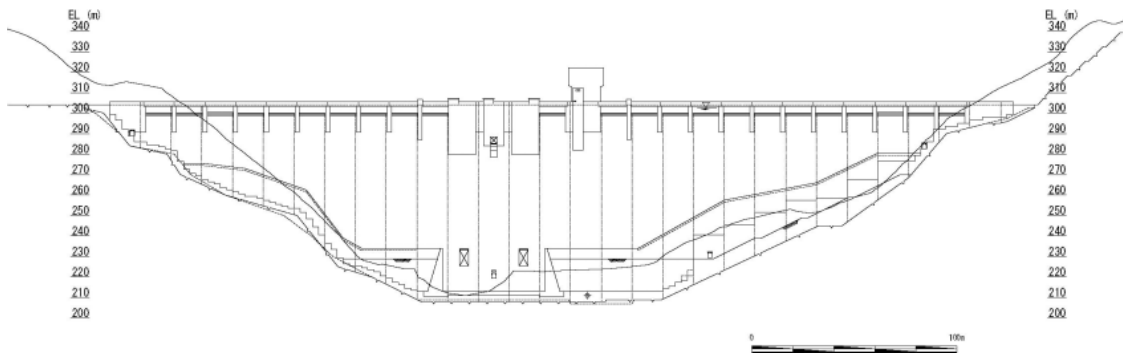


図 1.2-2(3) ダム堤体下流面図

(3) ダムの供用に関する事項

1) 洪水調節

嘉瀬川ダムでは、嘉瀬川水系の治水計画に基づき、100年に一度発生する規模の洪水に対し、ダム地点における基本高水流量 $2,200\text{m}^3/\text{s}$ のうち $1,370\text{m}^3/\text{s}$ を調節し、 $830\text{m}^3/\text{s}$ を放流することで、下流基準地点(官人橋)の洪水流量を低減させる計画である。このために必要な洪水調節容量として、 $17,500,000\text{m}^3$ を確保している。

2) 流水の正常な機能の維持

下流の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図る。

3) かんがい用水

佐賀西部地域の約 $9,180\text{ha}$ の農地に対するかんがい用水の補給を行う。

4) 水道

大和町に対し、大和町の川上地点において、新たに最大 $5,000\text{m}^3/\text{日}$ 、富士町に対し、ダム地点において、新たに最大 $2,000\text{m}^3/\text{日}$ の水道用水の取水を可能にする。

5) 工業用水道

佐賀市及び久保田町の嘉瀬川大堰地点において、新たに $10,000\text{m}^3/\text{日}$ の工業用水の取水を可能にする。

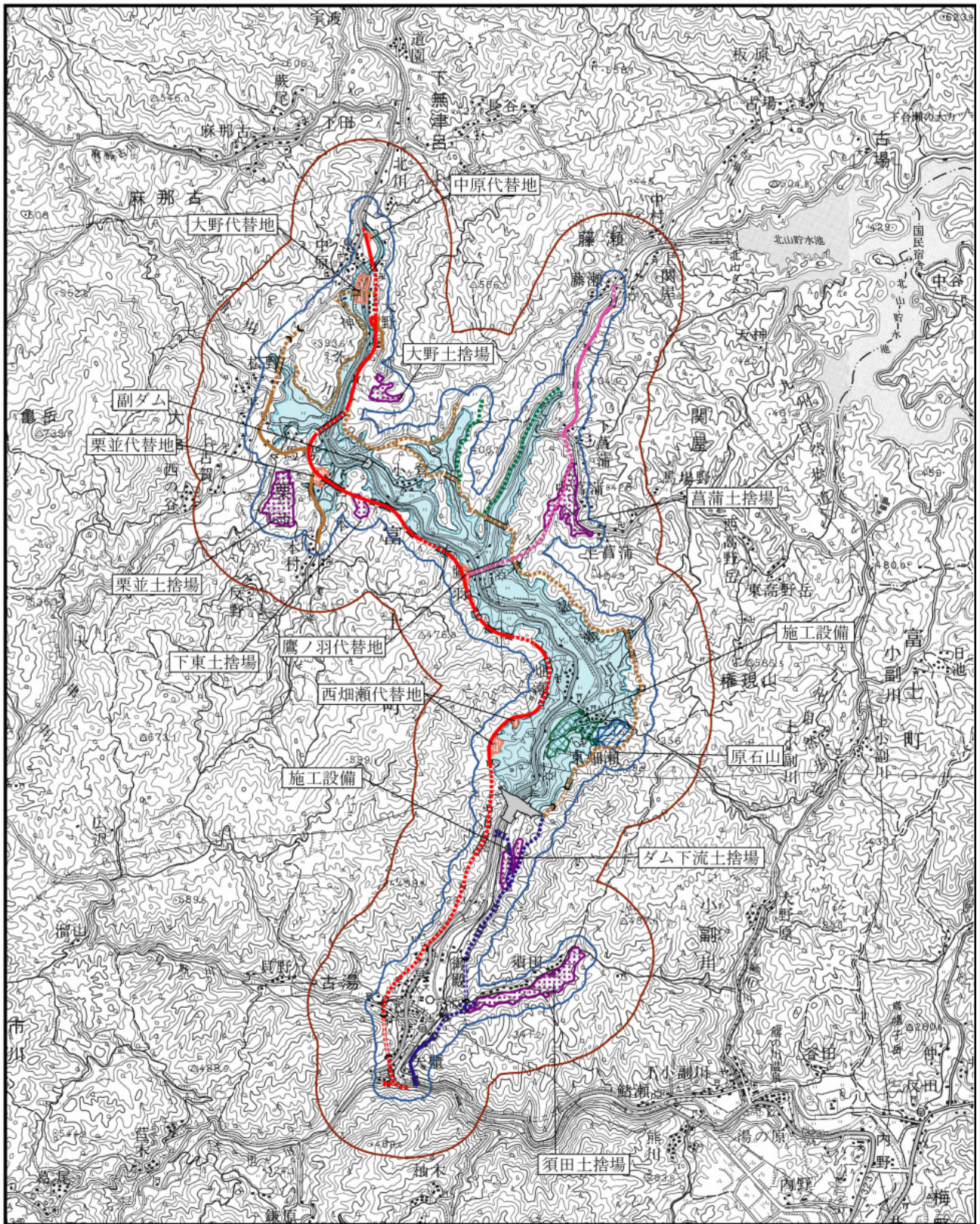
6) 発電

嘉瀬川ダムの建設に伴って新設される嘉瀬川発電所において、最大 $2,800\text{kW}$ の発電を行う。




















(4) 対象事業の工事計画の概要

嘉瀬川ダム建設にあたっては、現況の一般国道 323 号、一般県道三瀬栗並線等の一部の区間が水没するため、この区間について道路の付替を行っている。また、ダムの湛水により、富士町の西畑瀬地区、大串地区、大野地区等の集落や一部の農地が水没するため、西畑瀬代替地、鷹ノ羽代替地、栗並代替地、大野代替地等の造成を行う。なお、代替地の造成の工事は既に完了しており、移転も完了している。

ダム本体の工事としては、河川の流れを一時的に迂回させる転流工、ダム堤体付近の地盤の基礎掘削工、コンクリートと岩盤の密着やダムの基礎部の遮水性の確保を目的とした基礎処理工を行い、コンクリートを打設する。コンクリートに使用する骨材は、原石山等から採取し、骨材プラントで製造する。



凡例

- | | | |
|--|--|--|
|  : ダム堤体 |  : 付替国道 |  : トンネル |
|  : 副ダム |  : 付替国道(未完成) |  : 橋 |
|  : 貯水予定区域 |  : 付替県道 | |
|  : 原石山 |  : 付替県道(未完成) | |
|  : 土捨場 |  : 付替町道 | |
|  : 代替地 |  : 付替町道(未完成) | |
|  : 施工設備 |  : 付替林道 | |
|  : 対象事業実施区域 |  : 付替林道(未完成) | |
|  : 調査地域 |  : 工事用道路 | |
| |  : 工事用道路(未完成) | |



1 : 50,000

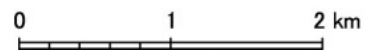


図1.2-3
工事計画概要